

しんじょう市議会だより

No.134
2016.11.10



うんとこしょ どっこいしょ。大きなおつイモだ！ — 向陽幼稚園提供 —

平成28年度一般会計は8月臨時会、9月定例会を経て 3億1,021万2千円を追加し、

総額

168億4,350万8千円に決定

本会議の審議から

8月臨時会、9月定例会に市長から出された主な案件は、次のとおりです。

- ① 一般財団法人新庄市体育協会の経営状態の報告について
- ② 新庄市土地開発公社の経営状況の報告について
- ③ 平成27年度新庄市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- ④ 市道路線の認定について
- ⑤ 平成27年度新庄市一般会計歳入歳出決算の認定について
- ⑥ 平成28年度新庄市一般会計補正予算の審議

一般会計補正予算

8月臨時会

本会議初日に歳入歳出それぞれ2,192万2千円が追加計上されました。補正内容の主なものは次のとおりです。

商工費

- ◎東北観光復興対策交付金に係る新規事業
- ① 冬期のインバウンド誘客の拡大に取り組むための雪国体験施設整備業務委託料〈500万円〉

- ② 地域ブランディング（地域の価値を向上させること）のための情報発信事業委託料〈1,300万円〉
- ◎質疑・要望
- ・委託料が主な内容の補正審査であるが、最大限有効な効果を期待する。（委託先の特定や能力を適宜判断する事）
- ☆審議を行った結果、全員異議なく可決しました。

9月定例会

本会議初日に歳入歳出それぞれ3億1,021万2千円が追加計上されました。

補正内容の主なものは次のとおりです。

総務費

- ◎ふるさと納税に係るお礼品に係る経費、事業効率改善の経費とPR強化の経費〈2億円〉
- ◎町内防犯灯LED化事業費補助金の増額〈370万3千円〉※6月定例会に続き増額補正

民生費

- ◎民間の介護・福祉施設へのスプリングラー整備事業に対する補助金〈504万5千円〉
- ◎年金生活者等支援臨時福祉給付に掛かる経費〈4,145万6千円〉
- ◎放課後児童クラブ等において、入所児童の増加と安全確保に対策する

- 事業委託金の増額〈668万6千円〉
- ◎制度改正による児童扶養手当給付費の増額〈807万1千円〉

衛生費

◎曙町第1公衆便所の機能改善に要する経費〈361万3千円〉

農林水産業費

◎効率的、高収益な生産出荷体制の実現を図るための産地パワーアップ事業費補助金〈273万1千円〉

商工費

◎商業地域空き店舗等出店支援事業費補助金の増額〈136万8千円〉

◎観光費寄附金を財源としたエコロジーガーデン交流プロジェクト実行委員会負担金の増額〈100万円〉

土木費

◎まちづくり会議等市民要望に早期に答えるため、修繕料等を中心とした道路維持経費の増額〈1,723万4千円〉

教育費

◎若者の地元帰郷と定着を図るための制度「山形県若者定着奨学金返還支援事業」発足に伴う出捐金〈307万8千円〉

◎ユネスコ無形文化遺産登録記念事業実行委員会負担金〈150万円〉

◎ふるさと歴史センターにおいてのユネスコ登録祈念企画山車場面製作業務委託料〈27万円〉

☆最終日に審議を行った結果、全員異議なく可決しました。

注釈1：公益法人、社会福祉法人、NPO法人、特別法上の法人、組合、任意の団体などに拠出するお金のこと。

8月臨時会で審議された議案等

※全会一致で決定したものです。

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
議案	第49号	平成28年度新庄市一般会計補正予算(第2号)	可決

9月定例会で審議された議案等

※全会一致で決定したものです。

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第10号	一般財団法人新庄市体育協会の経営状態の報告について	了承
	第11号	新庄土地開発公社の経営状況の報告について	了承
	第12号	平成27年度新庄市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	了承
諮問	第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案	第50号	新庄市教育委員会委員の任命について	同意
	第51号	新庄市表彰について	同意
	第53号	市道路線の認定について	可決
	第55号	平成27年度新庄市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第56号	平成27年度新庄市交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定

第57号	平成27年度新庄市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	
第58号	平成27年度新庄市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	
第59号	平成27年度新庄市営農飲雑用水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	
第62号	平成27年度新庄市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決・認定	
第63号	平成28年度新庄市一般会計補正予算(第3号)	可決	
第64号	平成28年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	
第65号	平成28年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	
第66号	平成28年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	
第67号	平成28年度新庄市営農飲雑用水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	
第68号	平成28年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	
第69号	平成28年度新庄市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	
【議会提出】			
議案	第2号	東日本大震災自主避難者への「住宅無償提供」の継続を求める意見書の提出について	可決
	第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	可決
	第4号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出について	可決

※以下の審議された議案は賛否が分かれたものです。
○ → 賛成 ● → 反対

審議された議案等で賛否が分かれたもの

議案等番号	会派名	会派名													採決結果					
		起新の会	市民・公明クラブ			穆清会	絆の会			会派に属さない議員										
		佐藤義一	石川正志	小嶋富弥	小野周一	山科正仁	佐藤卓也	高橋富美子	下山准一	小関淳	遠藤敏信	奥山省三	森儀一	今田浩徳	清水清秋	新田道尋	佐藤悦子	叶内恵子	星川豊	
議案第52号	新庄市議会議員及び新庄市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	可決
議案第54号	平成27年度新庄市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	認定
議案第60号	平成27年度新庄市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	認定
議案第61号	平成27年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	認定
請願第7号	臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	-	○	○	○	○	不採択
議案第5号	TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-	○	●	●	●	可決

※議長は採決に参加しません。
※原案のとおり採決することについての賛否を諮っています。(新庄市議会会議規則第70条：可をもって諮ることを原則)

人事案件

9月9日の定例会初日に同意された委員を紹介いたします。

人権擁護委員
新庄市万場町1番40号 松田 好功

教育委員会委員
新庄市城西町4番38号 山村 明德

新庄市大字本合海72番地 齊藤 浩昭

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書提出についての請願	宮城県仙台市太白区郡山3丁目24-6-2 福祉用具国民会議 長澤 康浩	高橋富美子 叶内恵子	採択
「福島原発事故避難者への住宅無償提供」継続についての請願書	新庄市大手町2番60号 最上地区平和センター 議長 佐藤 勝幸 米沢市万世町桑山4283 2-206 福島原発被災者フォーラム山形・福島 代表 武田 徹	遠藤敏信 今田浩徳	採択
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について	新庄市大字本合海1127番9号 山形県教職員組合最上支部 支部長 伊藤 充弘	遠藤敏信 今田浩徳	採択
臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願	新庄市城西町7-8 東浦 永子	星川 豊 小関 淳	不採択

決算を認定

決算特別委員会の審査から

一般会計

歳入

収入未済金について

Q. 将来の不納欠損額につながる、市の税金としての公平さを欠く未済金を減らすための今後の対策はどうか。

A. 個々の状況に応じて財産差押などの滞納処分による法的措置を実施しながら、徴収に努めてまいります。

歳出

一般管理費について

Q. 定員管理計画において職員の定員削減が示されているが、正規職員と非正規職員の比率について伺う。

A. 職員総数461名中、正職員数が287名、嘱託職員90名、日々雇用職員84名で非正規職員の割合が37.7%となっています。

一般管理費について

Q. 平成25年度より生涯学習課と生涯スポーツ課が一つになりましたが、業務量等を考慮し、再び分課する必要性がないのか。

A. 教育委員会と協議のうえ様々な方策を検討したいと考えております。

職員研修事業費について

Q. AED研修を受講された職員の人数と今後の実施について。

A. 参加者人数は20名程度であり、定期的にAED研修を計画していきたいと考えています。

重度身体障がい者移送サービス助成事業

Q. 交付枚数に対し、使用率が低いのが要因と今後の対応は。

A. 今年度34%であり、昨年度は41.2%でありました。利用枚数の制限があり全体として枚数が十分でないかと捉えています。

わらすこ広場管理運営事業費について

Q. わらすこ広場の利用者が増えているが、その要因とSNSや子育てハンドブックが利用者に好評ですが、今後の子ども・子育ての充実は。

A. 新しく中型遊具を2台導入した

市民プラザ大ホールが議場に！

市役所本庁舎の耐震化工事により、6月中旬から12月初旬までの間、議場の使用ができない状況にあります。

そのため、9月定例会は市民プラザの大ホールを臨時の議場として審議を行いました。



注釈2：SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）
人と人のつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト

平成27年度

一般会計 特別会計 水道事業会計

事と様々な事業展開の内容が知れ渡ってきた成果と思われます。SNSでは封筒にQRコードを付けるなど更なる周知を図るとともに、発信内容の充実に努めたいと考えています。

有害鳥獣捕獲等対応業務委託料

Q. 免許取得者の推移と取得者増に向けての取り組みは。

A. 現在猟友会員は50名おり、近年会員の減少が続いております。市では免許取得に補助はありませんが、県では新規猟友会員に対し、銃等購入時5万円を上限に補助金を助成しております。

最上広域市町村圏事務組合 分担金

Q. 可燃ごみが減っているのに施設費経費が上がっているのはなぜか。

A. エコプラザもがみの大規模改修工事の費用が5億円と見込まれて、結果として本市の負担金の増となります。

市青年就農給付金について

Q. 平成24年から始まっている事業ですが、最近の状況はどうか。

A. 平成24年度からの累計は28名で、現在の受給対象者は26名となっております。さらに浸透を深めるため、農業

だより等で、周知を図っていきます。

学校教育指導事業費

Q. 地域コーディネーターが図書館教育に専念できるよう安定した雇用にし、司書資格を取れるように研修を進めてはどうか。

A. 国や県の事業を活用しながらスキルアップを図っていきます。

新庄亀綾織伝承協会育成事業 業務委託料

Q. 亀綾織の伝承と今後の取り組みをどのように考えているのか。

A. 織り手の確保・育成が一番の課題であるため、そのための支援策の拡充や市の文化財としての可能性についても検討していきます。

山屋セミナーハウス管理運営 事業費について

Q. 機能強化基本調査の内容や現在の進捗状況、今後の展開をどのように考えているのか。

A. 送湯調査や浴室調査、概算工事費、協議が必要な関係機関などの調査を行っています。奥羽金沢温泉との話し合いを行いながら今後の展開を検討していきます。

公共下水道事業特別会計

公共下水道 分担金及び負担金、利用料及び手数料

Q. 収入未済が見られるがどのような状況で、徴収率向上に向けどのように取り組んでいくのか。

A. 全国的な傾向として経済的な状況等で未納が多くなっています。早い段階での解決が有効と考えています。

時の移ろいは
早いの一。
収穫が済めば
もう“そがき”の
季節じゃ。
※そがき＝雪囲い



一般質問

一般質問は、9月12日と13日の2日間、6名の議員が行いました。
質問の要旨は、質問者の原稿のとおり掲載しました。

9月定例会一般質問の質問者と質問事項

小嶋 富弥

1. 学校教育について
2. 新庄まつりについて

佐藤 義一

1. 6次産業化の進捗状況を問う
2. 都市計画道路の見直しを問う
3. ごみや不燃物の不法投棄対策を問う

奥山 省三

1. 道の駅について
2. 河川敷の支障木の伐採について
3. 臭気問題について

高橋 富美子

1. 食品ロス削減に向けての取り組みについて

2. 災害に強いまちづくりについて
3. 妊娠・出産・育児の切れ目のない支援
「新庄版ネウボラ」の推進について
4. 部活動の休養日導入について

小関 淳

1. 市役所の職場環境について

佐藤 悦子

1. 市民の重要な財産である公共施設について、削減ではなく、長寿命化計画をということについて
2. 市の農産物の消費拡大と産業の振興、市民の所得を増やす取り組みについて
3. 子育て支援の強化について
4. 山交バス肘折線の廃止について



小嶋 富弥 議員

行政の責任で教育環境の整備を

◎沼田小学校の老朽化は外観上では感じられないが、内部では亀裂、白華現象、結露、雨漏り等が深刻です。児童は水筒持参で通学している状況です。これでは、衛生、環境等の問題が子供達に及ぼす影響が心配です。PTAは、改築に向けた要望書提出を2回行っています。また、議会も早期改築の申し入れをしています。市では基本構想、計画はどう図るのか質問いたしました。

毎に小中一貫教育校の整備を図って参りたいという考えをご報告申し上げてまいりました。従いまして沼田小学校の改築については、明倫中学校区における小中一貫教育校の整備のなかで進めていくことを基本に各中学校区の保護者や地域の方に対し説明会を開催し、ご意見もいただいたところで、7月には学区内の地域代表、小中学校のPTA会長及び校長、有識者からなる明倫学区小中一貫教育校推進委員会を設置し、明倫学区の小中一貫教育校における基本構想の協議検討を進めておるところです。また、学校と地域のかたがたで構成し設置されている明倫中学校区小中一貫教育推進協議会においても、推進委員会での協議内容を報告し、ご意見をいただきながら構想をまとめていきたいと考えております。この基本構想を今年度中に策定し、その後基本計画のなかで意見交換しながら進め、着工から考え平成33年4月の開校を目標に現在進めさせていただいているところです。



6次産業化の進捗と都市計画道路の見直しを問う



佐藤 義一 議員

◎農産物の6次産業化事業の進捗と販売に向けた取り組み、ふるさと納税への返礼品として活用し、新庄の発信を図るべきと想うが、市としての考えを問う。

市長 6次産業化には、稲作以外の収益性の高い農産物による経営の多角化・複合化を通じた農家所得の安定化対策の一つの柱として流通・販売戦略の構築、新ブランドの確立などを通じ、農産物の付加価値向上を目指すことを目的に取り組んでいるところです。昨年度までの取り組みにより米、豆、山菜、雪の下野菜などを原材料とし、合わせて18品目の農産物加工品の試作品を開発・検証しました。これらの商品はいずれも試作段階であり本格販売は行っておりませんが、これまで4回の消

費者求評会を兼ねた試験販売を行ってき



ました。今後は、ふるさと納税の返礼品に期間限定でプレゼントし反応を見るなどしながら引き続き6次産業化の推進に努力してまいります。

◎着工が困難と想われる都市計画道路の見直し、廃止を考えないのか。路線上に土地や居住を有している人々の不安や心配を解消すべきと考えるが、今後の見直しを問う。

市長 都市計画道路の見直しにつきましては、都市計画を取り巻く環境が変化してきていることから、平成17年3月に山形県より「都市計画道路見直しガイドライン」が示され、代替え道路のあるものや、公共施設や密集市街地を通過する等の路線につきましても、周辺の交通に影響を及ぼさないか検証を行ったうえで見直しが認められるようになりました。本市におきましても今後予定されている都市マスタープランの見直しの中で都市計画道路の廃止と建築制限の解除について考えていきたいと思っております。

道の駅の設置について



奥山 省三 議員

◎道の駅の設置について現段階でどのような考えなのかお聞きします。東北中央道も泉田道路の完成を目指して進んでいます。他町村でも道の駅について動きが有るようですが、今がその時期だと思えますが、どのようにお考えですか。

市長 道の駅につきましては、昨年度、国や県の担当者と道の駅の現状や今後の進め方等について協議を行いました。今年度は、県内の道の駅について建設規模や経営主体等の調査分析を行い、本市の目指すべき道の駅の在り様について取りまとめを行うとともに関係各課による庁内検討会を開催しているところです。今後は、外部機関に委託し基本構想（案）をとりまとめたいと思っております。平成26年

度に表示された国の方針や平成28年度に表示された県のビジョンを踏まえ時期を逸しないよう進めてまいりたいと考えております。

◎臭気の問題が最近起こっています。これについて当市としての対策は何もできないのでしょうか。

市長 悪臭防止対策につきましては、平成24年度から悪臭防止法による悪臭規制地域や臭気指数規制の設定に関する権限が県から市に移譲されましたが、これらは工業団地や市街地における規制を想定しているものであります。野中地区の悪臭問題については、原因者が鮭川村にある養豚施設ということで規制はできませんが、臭気対策の改善については、鮭川村を通して情報共有を図りながら事業者が改善を求めていきたいと考えております。また、二枚橋地区における金山町にある養豚施設からの悪臭問題については、施設内の脱臭装置の変更を図るなどの対策を講じたことから改善が見受けられます。



安心して子育てできるために



佐藤悦子 議員

◎経済的な理由などで産休あけから保育を希望する保護者が少なくない。認可保育所で受け入れ可能になるよう条件の改善をし、認可保育所を増やしていただきたい。

市長 本市では認可保育所の受け入れ年齢を生後8か月からとしておりますが、保護者の要望もあることから受け入れ年齢の見直しについて市立保育所、民間立保育所等の意見も聴取しながら検討を始めています。増設につきましては、今年4月に民間立保育所が2所開設され定員が106名の増、市が認可した小規模保育事業所も4月に5所開設され定員数で新たに91名の増加となっております。小規模保育事業所につきましては年齢の下限を設けておりませんので産休明けからの受け入れも行っていただいております。今後も保育ニーズと保育の質の向上を目指して適切に対応してまいります。



◎年度途中の乳児の受け入れができるよう、年度当初から保育士を配置すべきではないか。小規模保育施設や認可外保育所でも受け入れできるよう市独自の補助が必要ではないか。

市長 保育士配置の市独自補助については、面積要件、定員とまず上限で運営しておりますので、県補助事業の活用は非常に困難である状況にあります。また、保育士の処遇改善については、平成27年4月に遡って約1.4%増に改定されたため、本市も国、県とともに増加分の負担を行っております。これらのことから現時点では市単独補助事業の創設に関しては考えておりません。しかしながら、3歳児未満児の保育需要が高い状況にあることには変わりがございます。支援事業計画上新制度に移行していただく予定の幼稚園について認定子ども園化を視野に入れるなどの対策を検討してまいります。

常任委員会視察報告

産業厚生常任委員会

当常任委員会は、7月28日～29日に岩手県岩手町においてがん検診事業「岩手町方式」の構築の取り組みと青森県十和田市で市協働による除雪の推進に関する条例について視察を行いました。

岩手町は、昭和50年代半ば、検診受診率は岩手県内で最下位グループに入っておりましたが、町の医療機関の医師や関係者、住民と行政が一体となり検診推進活動が始まりました。その結果、平成23年度の検診受診率は全国平均を上回り、その結果病気の早期発見や早期治療にも繋がりました。

新庄市では健康診断受診率は県内でワースト2位が続いており、積極的な草の根運動と共に各団体と連携し、健康づくり強化をしなければならぬと感じました。

また、十和田市では近年景気の低迷等により除雪重機の不足が懸念されており、作業に困難が生じております。行政のみの対策では限界があり市民と除雪業者・行政の三者の役割を明確にし、除雪マナーの向上を図るために条例を制定しました。市

民も市の進める雪対策に協力し、敷地内に降った雪は自ら片付けること、除雪業者の役割として除雪重機やオペレーターの確保対策や事故防止・法令遵守した除雪作業を実施するとしております。新庄市においても市民ニーズの高度・多様化などにより課題が山積しております。除雪に対して市民一人ひとりが自分の役割を確認し、協働の意識を高めていくことが重要と感じました。



行政視察報告

起新の会

1. 視察日程

平成28年7月4日(月)～6日(水)

2. 調査事項(視察先)

- (1) 定住支援施策について(島根県益田市)
- (2) 新エネルギー推進事業について(島根県出雲市)
- (3) 観光交流推進事業について(島根県出雲市)

3. 視察参加議員(議席順)

石川正志 小嶋富弥
佐藤義一(代表)

■所感

「定住支援対策事業」

益田市では市長の選挙公約であった定住促進策を平成22年度から開始し、人口拡大課を新設するなど機構改革を行っていました。その結果、Uターン者数は平成27年度で129件、208人となっており、益田市の人口動態における社会的減少は、平成17年度～20年度まで約400人だったのが、平成26年度には185人まで縮小しており事業の効果を見ることが出来ます。これら定住支援に係る助成は、地方創成総合交付金

(先行型)を活用したと伺いました。益田市のもう一つの大きな特徴は、空き家バンクの制度を構築し、修繕に助成(社会資本整備総合交付金活用)をはじめ、宅建業者と連携した取り組みは、わが新庄市においても学ぶべき事業であると感じさせられました。



絆の会

1. 視察日程

平成28年7月19日(火)～21日(木)

2. 調査事項(視察先)

- (1) 学校の跡利用について(北海道登別市)
- (2) 道の駅 Y O U 遊 もり(北

北海道森町)

- (3) ふるさと納税について(北海道八雲町)

3. 視察参加議員(議席順)

今田浩徳 清水清秋
新田道尋 森 儀一(代表)

■所感

○廃校の再活用、リニューアル、地域還元等廃校舎を取り巻く施策は自治体にとって課題になってきています。集約を行い納得のいく活用がされて収益を上げ、地域に根ざした産業として高い評価を受けていました。人口減少に伴う影響は当市にとっても各方面にあり、市所有の施設の活用については、登別市の参考になる点を吸収し、近い将来に備えるべきではないかと感じました。

○国道沿いの立地と函館から最初の道の駅という好条件、誰もが知る「いかめし」という特産物があるのが一番の目玉で、北海道の道の駅ランキングでも上位に位置します。町のPRを施設全体で行い、周辺地域と併せてイベントも開催し集客を維持していました。第三セクターの運営のため、体制の構築が課題とのことでした。

交通網の要所である新庄市にとって道の駅の必要性は重要で、利便性の高い道の駅を作らなければなりません。どのような設置法が良いのか

皆で考えて行く必要性を感じました。○地域の実状を把握し、町の総合計画に基づいた八雲町ふるさと応援寄付金条例を制定し寄付の用途指定を受けて寄付金を受け入れ充当していました。物産館の丘の駅を通じて特産品の送付をしていたのを平成26年12月より寄付金の代行サービス業者(株)さとふる)に一部の事務を委託し並行して実施を始め、現在も安定した寄付金の申し込みが続いているようです。納税業務フローを構築し申し込み易い環境を提供しており、特に入金方法に関しては金融関係機関はもちろんコンビニ、携帯会社の決済など窓口を広げて対応しております。



穆清会

1. 視察日程

平成28年8月4日(木)～5日(金)

2. 調査事項(視察先)

- (1) 道の駅等の開始、運営について
(茨城県行方市)

- (2) 地方議員研修(東京都豊島区)

3. 視察参加議員(議席順)

小関 淳(代表) 奥山省三

■所感

「道の駅等の開始、運営について」
今回の視察は、地域の各方面で持ちあがっている道の駅開設問題について前向きな検討を進めるために、先進的な施設の基本コンセプト、運営状況などを学ぶことを目的としました。

茨城県の南東部にある霞ヶ浦周辺には、「道の駅たまつくり」や「道の駅いたこ」などの多くの施設があります。どの施設も近隣他施設との連携や、地域特性を十分に活かしながら、独自コンセプトでの積極的な経営を行っています。

なかでも、「行方ファーマーズヴィレッジ」という施設には、目を見張るものがありました。正確にはこの施設は「道の駅」という括りではありません。しかし、廃校になった小学校をリノベーションし、特産物であるサツマイモを前面に掲げ、単なる地元産品の商業施設としてでは

なく、体験型テーマパークとして成立させている状態には、道の駅以上の魅力を感じました。施設全体、そして、接客、商品、飲食メニュー、体験教育メニューなどの全てが、しっかりと統一されたコンセプトの中でエネルギーに運営されています。

現在、道の駅は全国的に乱立気味で、山形県内でも多くの施設が集客力アップのために、しのぎを削っています。このような状況の中では、周到な準備と議論、そして、他に類を見ないほどの魅力を備えた施設開設が求められることを感じました。

「地方議員研修(東京都豊島区)」
地方議員研修は「地方議会人の挑戦(午前)」「魅力ある地方議会像をつくる(午後)」の講義を受講しました。昨今全国で地方議員の不祥事があり、同じ議員として悩ましいところですが、この研修を通じて議員としての役割を再確認する良い機会になったと感じました。



会派に属さない議員

佐藤悦子

1. 視察日程

- (1) 平成28年7月30日(出)

- (2) 平成28年8月22日(月)～23日(火)

2. 研修事項(研修先)

- (1) 地方議員セミナー(宮城県仙台市)

- (2) 市町村議会議員研修会in長野(長野県長野市)

■所感

「地方議員セミナー」

テーマは「子ども・子育て支援新制度 自治体における保育行政の課題」で、4つの講義を受けることが出来ました。それぞれの専門の研究者から、子ども子育て支援制度の内容や、課題を学び、9月議会での一般質問に活かすことが出来ました。「市町村議会議員研修会in長野」

公共施設の管理計画策定にあたってどのように見るべきかというテーマの講義を特に傾聴してきました。ここでは、①人口推計は、自治体の総合計画の推計である人口ビジョンを使うべき②公共施設の長寿命計画にすべき③中心部の空き地は、高齢化で必要になる社会福祉法人の施設建築用に貸すとか緑地化にするとかでよいなどを学び、9月議会の一一般質問に活かすことができました。

叶内恵子

1. 視察日程

- (1) 平成28年6月28日(火)～29日(水)

- (2) 平成28年7月12日(火)～13日(水)

2. 研修事項(研修先)

- (1) 財政分析ステップアップ講座(東京都立川市)

- (2) 「議員の位置づけと議会の権能」
～政策提案型の議員活動のすすめ(東京都中央区)

■所感

「財政分析ステップアップ講座」

「財政が怖い人大歓迎」というチラシの文句が目飛び込んできたことをきっかけに、本年一月に「よくわかる市町村財政分析」という基礎講座に参加しました。参加冒頭から自治体で用いられる財政用語についていくのに終始した2日間が終了してしまいました。室内を見渡してみると、党派関係なく、また、新人議員から7期目の方まで、幅広い層が参加していました。少子高齢化による人口減で市場は縮小していくというこれまで経験したことがない劇的な社会変化にあつて、これまでとは全く様相が異なる社会変化に的確に対応していこうとしている参加者の意気込みを感じながら、自分の住むまちの財政を的確に理解するということは当然のことではありますが、その重要性を認識しました。

「議会のこといろいろ聞いてみよう!」第9回議会報告会を開催します。

新庄市議会は、より市民の皆様との接点を充実させ、議会活動をより多くの皆様に理解していただくために、議会の取り組みを報告し、意見交換を行う「議会報告会」を開催しています。多くの皆様の参加をお待ちしております。

○報告会の内容

平成28年9月定例会の議会報告について

《お願い》報告会当日は、「しんじょう市議会だより No.134号」をご持参ください。

○開催日時と会場（担当班名簿）

ご都合の良い会場にご来場ください。

開催日	会場	担当議員	時間
11月24日(木)	八向地区公民館	A班	午後7時00分 ～8時30分 (午後6時30分開場)
	萩野地区多目的研修センター	B班	
	鳥越公民館	C班	
11月25日(金)	雪の里情報館	A班	
	升形公民館	B班	
	わくわく新庄	C班	
11月28日(月)	萩野地区公民館	A班	
	新庄市民プラザ	B班	
	山屋公民館	C班	

A班	遠藤 敏信(班長)、新田 道尋、高橋富美子、小嶋 富弥、佐藤 卓也、星川 豊
B班	佐藤 悦子(班長)、小野 周一、今田 浩徳、奥山 省三、石川 正志、清水 清秋
C班	森 儀一(班長)、佐藤 義一、小関 淳、下山 准一、叶内 恵子、山科 正仁

12月定例会の予定

12月13日(火)	開会
14日(水)	一般質問
15日(木)	一般質問
16日(金)	常任委員会
17日(土)	休会
18日(日)	休会
19日(月)	常任委員会
20日(火)	休会
21日(水)	休会
22日(木)	最終日

請願締切 12月1日(木)までとなっております。
※一般質問者数により若干日程が変わります。

先号よりタイトル文字を変えました

作者 樋渡 博之氏

プロフィール

山形県新庄市出身、日本大学芸術学部卒業、CM制作会社勤務後フリーランスのデザイナーとして活躍中。



あとがき



「天高く馬肥ゆる秋」の季節となりました。

数多い台風があつた年でしたが幸いにも本県には甚大な影響はありませんでした。

自然災害の少ない地域に住んでいる事への恩恵を再認識しているこの頃です。

さて、9月議会では「1年間の行政執行の通信簿」とも言える「決算報告」がありました。決算報告を受け「質すところは質し、良き結果に対しては労う」事が議会の本懐です。しかし、我々議員はどうしても「質すこと」に情熱を燃やしがちにはなりません。が・・・。

今後とも歳入が肥える事を期待し、そして歳出が市民の方々の満足できる執行(使い道)になる様に議員一同しっかりと監視していきます。

最後に、この議会報が市民の皆様にとって少しでも議会に対する御理解を得られます事を願ひまして編集後記とさせていただきます。

議会報編集委員

山科 正仁